

第2章 自然とともに暮らすまち

第1節 環境への負荷の少ないまちづくり

主要な施策

I 環境に配慮した暮らしの構築

- 1 環境保全意識の醸成
- 2 環境保全活動の推進

II 循環型社会の構築

- 1 廃棄物の減量
- 2 廃棄物の有効活用
- 3 一般廃棄物の適正処理
- 4 産業廃棄物の適正処理
- 5 不法投棄の防止

III 生活排水の適正な処理

- 1 公共用水域の水質保全と下水道施設の適正な管理
- 2 し尿の適正処理

◆第2章 第1節 実施事務事業の概要

実施事業数	25	事業
追加事業数	1	事業
未実施事業数	0	事業
統合事業数	0	事業
他包括事業数	0	事業
計画事業額	4,036,889	千円
実施事業額	4,637,362	千円

第2章 自然とともに暮らすまち

第1節 環境への負荷の少ないまちづくり

I 環境に配慮した暮らしの構築

第3期基本計画書 P-35

目標への接近度を図る指標等		単位	基準値	実績値H28	実績値H29	実績値H30	目標値R7	H30時点評価
指標1	環境保全活動に取り組む人数	人	670	671	666	670	800	継続
指標2	環境家計簿の活用に取り組む世帯の割合	%	13.0	14.0	15.0	7.1	23.0	遅延
指標3	環境調査における環境基準を超えた項目	件	0	0	0	0	0	達成

Ⅱ 循環型社会の構築

第3期基本計画書 P-37

目標への接近度を図る指標等		単位	基準値	実績値H28	実績値H29	実績値H30	目標値R7	H30時点評価
指標1	家庭系ごみの市民1人・1日当たりの排出量	g	572	572	577	587	570	遅延
指標2	事業系ごみの年間排出量	t	7,235	7,843	8,006	7,753	6,735	遅延
指標3	最終処分場の年間埋立て量	t	2,882	2,028	2,025	2,049	1,955	進展
指標4	不法投棄件数	件	52	26	20	20	0	進展

Ⅲ 生活排水の適正な処理

第3期基本計画書 P-39

目標への接近度を図る指標等		単位	基準値	実績値H28	実績値H29	実績値H30	目標値R7	H30時点評価
指標1	し尿の年間汲み取り量	kl	5,415	4,933	4,472	4,362	3,057	進展
指標2	汚水処理人口普及率	%	96.8	96.9	96.7	96.9	100.0	継続
指標3	水洗化率	%	86.5	86.7	86.7	86.8	100.0	継続

【第1次実施計画期間中の取組及び成果】

- 目標への接近度を図る指標等10項目の状況は次のとおりです。
- ・「環境調査における環境基準を超えた項目」は、3か年とも目標値を達成しました。
  - ・「最終処分場の年間埋立て量」、「不法投棄件数」、「し尿の年間汲み取り量」の3項目については、基準値を下回り、順調に減少している状況です。
  - ・「環境保全活動に取り組む人数」、「汚水処理人口普及率」、「水洗化率」の3項目については、基準値と同程度となりました。
  - ・「環境家計簿の活用に取り組む世帯の割合」は、対象を平成29年度までは夏・冬ともに小学生の全学年としていましたが、学校の負担軽減のため、平成30年度より夏は偶数学年、冬は奇数学年に変更したことから、対象人数が減となり、基準値を下回りました。
  - ・「家庭系ごみの市民1人・1日当たりの排出量」、「事業系ごみの年間排出量」の2項目については、思うように削減が進んでいない状況です。
- 各施策の取組の一例は次のとおりです。
- ・『施策Ⅰ 環境に配慮した暮らしの構築』では「電気自動車普及促進事業」、「公害対策事業」等を継続的に実施し、環境保全や再生可能エネルギーの利用、省資源・省エネルギー型生活の実現に向けた市民の意識醸成に取り組むとともに、再生可能エネルギーの利用促進につながる取り組みや、公害の監視、生態系の保全に資する事業を展開し、安全安心な生活環境の維持に努めました。
  - ・『施策Ⅱ 循環型社会の構築』では、廃棄物の抑制や減量化、ごみの正しい分別、リサイクルの普及啓発等、廃棄物の適正な処理を促進するとともに、不法投棄対策の強化を行いました。廃棄物の減量については「リサイクルまつり」事業を実施し、広く市民に対しごみの減量化やリサイクルに関する意識づけを行ったほか、「ごみ減量化推進事業(資源ごみの回収)」、「ごみ袋管理経費」等を実施することにより、ごみの減量化及び循環型社会の実現を目指しました。
  - ・『施策Ⅲ 生活排水の適正な処理』では、持続可能な下水道事業の促進、し尿投入施設の適切な維持管理等を進め、生活排水等の適正処理の実施と水質汚濁の防止に努め、環境負荷の軽減を図りました。

【主な施策の主要事業】

単位:千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業区分	H30時点評価	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
I 環境に配慮した暮らしの構築								
1 環境保全意識の醸成								
		総合的な環境保全の推進	計画額	852	868	868	実施事業	環境対策G
			決算額	389	430	166		
		環境に配慮した消費行動の推進	計画額	—	—	—	実施事業	環境対策G
			決算額	—	—	—		
2 環境保全活動の推進								
		温暖化対策実行計画(区域施策編)策定事業	計画額	2,592	0	0	実施事業	環境対策G
			決算額	2,484	0	0		
		電気自動車普及促進事業	計画額	1,323	1,348	1,348	実施事業	環境対策G
			決算額	1,116	1,165	1,283		
		公害対策事業	計画額	1,311	1,336	1,336	実施事業	環境対策G
			決算額	1,152	1,133	1,168		
		自動車騒音常時監視業務	計画額	2,522	2,569	2,569	実施事業	環境対策G
			決算額	2,376	2,409	2,841		
		野犬掃討等業務委託事業	計画額	7,035	7,166	7,166	実施事業	環境対策G
			決算額	6,020	6,520	6,369		
II 循環型社会の構築								
1 廃棄物の減量								
		登別市衛生団体連合会運営事業補助金	計画額	500	500	500	実施事業	環境対策G
			決算額	500	500	500		
		ごみ減量化推進事業(資源ごみの回収)	計画額	4,500	4,500	4,500	実施事業	環境対策G
			決算額	4,006	3,854	3,633		

主な 施策	基本的な 方向	主要事業		事業費			事業区分	H30時点評価	
				平成28年度	平成29年度	平成30年度			
		ごみ袋管理経費	計画額	33,143	33,757	33,757	実施事業	環境対策G	
			決算額	28,691	28,745	36,097			
	2 廃棄物の有効活用								
			ごみ減量化推進事業(リサイクルの状況)	計画額	691	704	704	実施事業	環境対策G
				決算額	654	654	366		
			リサイクルまつり	計画額	61	63	63	実施事業	環境対策G
				決算額	56	69	62		
	3 一般廃棄物の適正処理								
			最終処分場整備事業 ※廃棄物管理型最終処分場水処理施設(電気・計装設備)改修事業から名称変更	計画額	0	21,449	0	実施事業	環境対策G
				決算額	0	17,950	0		
			ごみステーションネット化推進事業補助金	計画額	104	106	106	実施事業	環境対策G
				決算額	80	52	104		
			ごみ収集運搬業務委託事業	計画額	129,212	131,605	131,605	実施事業	環境対策G
				決算額	129,212	129,212	129,212		
			クリンクルセンター運営管理経費及び最終処分場運営管理経費	計画額	638,237	650,057	650,057	実施事業	環境対策G
				決算額	614,610	632,888	642,981		
			クリンクルセンター中間改修事業	計画額	244,329	285,777	157,010	実施事業	環境対策G
				決算額	241,953	210,384	192,078		
			一般廃棄物(生活排水)処理基本計画改定業務委託料	計画額	※	※	※	追加事業	環境対策G
				決算額	0	1,836	0		
4 産業廃棄物の適正処理									
		産業廃棄物処理場への管理・指導	計画額	—	—	—	実施事業	環境対策G	
			決算額	—	—	—			

主な 施策	基本的な 方向	主要事業	事業費			事業区分	H30時点評価	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	5	不法投棄の防止						
		不法投棄等防止事業	計画額	315	321	321	実施事業	環境対策G
			決算額	146	132	167		
Ⅲ 生活排水の適正な処理								
	1	公共用水域の水質保全と下水道施設の適正な管理						
		公共下水道汚水整備事業	計画額	429,919	●	●	実施事業	下水道G
			決算額	407,780	273,163	292,981		
		水洗便所改造等融資あっせん及び補助金	計画額	125	125	125	実施事業	下水道G
			決算額	9	11	11		
		公共下水道雨水管渠整備事業	計画額	133,800	●	●	実施事業	下水道G
			決算額	33,478	57,382	216,879		
		下水道事業経営戦略策定業務委託	計画額	6,588	0	0	実施事業	下水道G
			決算額	3,942	0	0		
	2	し尿の適正処理						
		し尿処理業務(し尿処理・収集量)	計画額	83,912	85,466	85,466	実施事業	環境対策G
			決算額	81,825	80,065	82,196		
		個別排水処理施設整備事業	計画額	10,600	●	●	実施事業	下水道G
			決算額	2,894	13,371	2,970		

第2章 自然とともに暮らすまち

第2節 自然を生かした潤いのあるまちづくり

主要な施策

I 自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出

- 1 自然環境活動の拠点づくりと人づくり
- 2 自然環境の保全と復元
- 3 水辺環境の保全・創造
- 4 自然とのふれあいの場の整備
- 5 葬斎場・墓地の整備

◆第2章 第2節 実施事務事業の概要

実施事業数	13	事業
追加事業数	0	事業
未実施事業数	0	事業
統合事業数	0	事業
他包括事業数	1	事業
計画事業額	291,254	千円
実施事業額	293,424	千円

第2章 自然とともに暮らすまち

第2節 自然を生かした潤いあるまちづくり

I 自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出

第3期基本計画書 P-42

目標への接近度を図る指標等		単位	基準値	実績値H28	実績値H29	実績値H30	目標値R7	H30時点評価
指標1	自然環境学習指導者の人数	人	194	199	183	181	230	遅延
指標2	キウシト湿原における観察会等の参加者数	人	720	1,163	1,316	1,058	900	達成

【第1次実施計画期間中の取組及び成果】

- 目標への接近度を図る指標等2項目の状況は次のとおりです。  
 ・「自然環境学習指導者の人数」は、基準値を下回りました。市民が豊かな自然を実感し、自然の役割や大切さについて理解を深めてもらい、子どもから高齢者まで誰もが気軽に自然に触れあう機会を得ることができるように自然活動の指導者の育成に努めて行く必要があります。  
 ・「キウシト湿原における観察会等の参加者数」は、目標値を達成しました。今後もこの水準を維持していくことが重要です。
- 各施策の取組の一例は次のとおりです。  
 ・個別の事務事業では、特にネイチャーセンターを拠点に、広く市民が自然に親しみ、体験できる機会を創出できるよう「ネイチャーセンター運営管理経費」、「通学合宿 みんなで学ぶ『子ども村』」事業を実施しました。また、葬斎場や墓地についても適切な維持管理を実施し、衛生的で安心して利用できる施設として供用しました。

【主な施策の主要事業】

単位：千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業区分	H30時点評価	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
I 自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出								
1 自然環境活動の拠点づくりと人づくり								
		通学合宿 みんなで学ぶ『子ども村』	計画額	2,366	2,366	2,366	実施事業	社会教育G
			決算額	2,366	1,818	2,058		
2 自然環境の保全と復元								
		傷病鳥獣等保護経費	計画額	105	105	105	実施事業	農林水産G
			決算額	76	100	299		
		キウシト湿原管理事業	計画額	4,476	4,476	4,476	実施事業	土木・公園G
			決算額	4,353	4,200	4,245		
		民有林造林推進事業	計画額	2,728	2,728	2,728	実施事業	農林水産G
			決算額	1,420	1,629	1,482		
		森林愛護啓蒙事業補助金	計画額	107	107	107	実施事業	農林水産G
			決算額	107	107	107		
3 水辺環境の保全・創造								
		親水空間の保全・整備	計画額	—	—	—	実施事業	土木・公園G
			決算額	—	—	—		

主な 施策	基本的な 方向	主要事業	事業費			区分	H30時点評価	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
4 自然とのふれあいの場の整備								
		交流の森づくり事業	計画額	—	—	—	実施事業	土木・公園G
			決算額	0	0	0		
		ネイチャーセンター運営管理経費	計画額	39,215	39,884	39,884	実施事業	社会教育G
			決算額	38,611	39,450	38,944		
5 葬斎場・墓地の整備								
		葬斎場中間改修事業	計画額	0	6,264	8,856	実施事業	市民サービスG
			決算額	0	6,264	6,264		
		葬斎場運営管理事業	計画額	35,880	35,880	35,880	実施事業	市民サービスG
			決算額	35,849	34,508	31,097		
		富浦墓地施設整備事業	計画額	0	2,631	2,225	他包括事業	市民サービスG
			決算額	0	0	0		
		共同墓設置事業 ※合同墓設置事業から名称変更	計画額	0	●	●	実施事業	市民サービスG
			決算額	0	2,565	20,880		
		墓地管理経費(墓参バス借上料除く)	計画額	4,998	4,998	4,998	実施事業	市民サービスG
			決算額	4,699	4,676	4,849		
		墓地管理経費(墓参バス借上げ料)	計画額	105	105	105	実施事業	市民サービスG
			決算額	105	148	148		

●「富浦墓地施設整備事業」は「墓地管理経費(墓参バス借上料除く)」に包括して実施



第2章 自然とともに暮らすまち

第3節 安全に安心して暮らせるまちづくり

主要な施策

I 総合防災対策の推進

- 1 防災計画の推進
- 2 防災意識の向上
- 3 防災体制の充実
- 4 治山対策の推進
- 5 治水・雨水対策の推進

II 消防・救急救助体制の充実

- 1 火災予防活動の推進
- 2 消防力の強化・高度化

III 交通安全の推進

- 1 交通安全意識の高揚
- 2 交通安全施設の整備

IV 安全な消費生活の確保

- 1 消費者対策の充実

V 安全安心なまちづくり

- 1 防犯対策の推進

VI 心配ごと・困りごとの解消

- 1 市民相談の充実

◆第2章 第3節 実施事務事業の概要

実施事業数	49	事業
追加事業数	3	事業
未実施事業数	1	事業
統合事業数	0	事業
他包括事業数	1	事業
計画事業額	883,315	千円
実施事業額	1,024,511	千円

第2章 自然とともに暮らすまち

第3節 安全に安心して暮らせるまちづくり

I 総合防災対策の推進

第3期基本計画書 P-47

目標への接近度を図る指標等		単位	基準値	実績値H28	実績値H29	実績値H30	目標値R7	H30時点評価
指標1	非常持ち出し品を備えている人の割合	%	39.0	49.8	—	—	49.0	—
指標2	災害時の避難場所や連絡方法等を家族と事前に決めている人の割合	%	43.0	50.3	—	—	53.0	—

II 消防・救急救助体制の充実

第3期基本計画書 P-50

目標への接近度を図る指標等		単位	基準値	実績値H28	実績値H29	実績値H30	目標値R7	H30時点評価
指標1	火災発生件数	件	15	13	19	15	10	継続
指標2	住宅用火災警報器設置率	%	86.0	84.2	86.2	82.7	95.0	遅延

III 交通安全の推進

第3期基本計画書 P-52

目標への接近度を図る指標等		単位	基準値	実績値H28	実績値H29	実績値H30	目標値R7	H30時点評価
指標1	交通事故件数	件	110	79	64	52	90	達成
指標2	交通事故死亡者数	人	0	0	2	1	0	遅延

IV 安全な消費生活の確保

第3期基本計画書 P-54

目標への接近度を図る指標等		単位	基準値	実績値H28	実績値H29	実績値H30	目標値R7	H30時点評価
指標1	消費生活展の参加者数	人	750	1,100	1,200	1,550	850	達成
指標2	消費生活相談件数	件	164	191	253	252	300	進展
指標3	消費生活相談の解決率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	達成

V 安全安心なまちづくり

第3期基本計画書 P-55

目標への接近度を図る指標等		単位	基準値	実績値H28	実績値H29	実績値H30	目標値R7	H30時点評価
指標1	市内の犯罪発生件数(年間)	件	261	226	222	188	200	達成

VI 心配ごと・困りごとの解消

第3期基本計画書 P-56

目標への接近度を図る指標等		単位	基準値	実績値H28	実績値H29	実績値H30	目標値R7	H30時点評価
指標1	無料法律相談利用件数	件	42	44	37	47	72	継続

【第1次実施計画期間中の取組及び成果】

- 目標への接近度を図る指標等11項目の状況は次のとおりです。
- ・「交通事故件数」、「消費生活展の参加者数」、「消費生活相談の解決率」の3項目については、3か年いずれの年度においても、目標値を達成しました。
  - ・「市内の犯罪発生件数(年間)」は、基準値から順調に減少し、平成30年度に目標値を達成しました。今後もこの水準を維持していく事が重要です。
  - ・「消費生活相談件数」は、基準値を上回り、順調に目標値へ近づいています。
  - ・「火災発生件数」、「無料法律相談利用件数」の2項目については、基準値と同程度となりました。
  - ・「交通事故死亡者数」は、平成29年と平成30年に死亡事故が発生し、尊い命が失われました。
  - ・「住宅用火災警報器設置率」は、新築住宅への設置は進んでいるものの、既存住宅への設置が伸び悩んでいることから基準値を下回る状況が続きました。
  - ・「非常持ち出し品を備えている人の割合」と「災害時の避難場所や連絡方法を家族と事前に決めている人の割合」の2項目は、平成28年度の調査結果では、基準値より向上が見られています。
- 各施策の取組の一例は次のとおりです。
- ・『施策Ⅰ 総合防災対策の推進』における事務事業では、「高台避難誘導看板設置事業」により市内全域に津波時における高台避難場所付近や避難経路等に関する誘導看板を設置し、市民の生命や財産を守るための取り組みを進めました。また、「防災情報の伝達装置に係る維持管理経費」では、防災行政無線の保守点検や衛星電話の整備を行い、多様な防災情報伝達手段の確保に努めました。
  - ・『施策Ⅱ 消防・救急救助体制の充実』では、講習会や広報活動による火災予防意識の向上を図るとともに、消防団活動の活動強化と活性化に取り組みました。消防力の強化・高度化の観点では、「水槽付消防ポンプ自動車更新事業」、「消防支署新庁舎建設事業」等を実施し消防施設や機器整備の高度化と効率化を進めました。
  - ・『施策Ⅲ 交通安全の推進』では、子どもや高齢者に対し交通安全教育の推進に注力し、交通安全施設の整備、交通事故を防止する取組を行いました。「交通安全推進事業」、「交通安全協会交付金」では、関係機関との連携を進め交通安全教育や全市的な交通安全運動を推進しました。
  - ・『施策Ⅳ 安全な消費生活の確保』、『施策Ⅴ 安全安心なまちづくり』、『施策Ⅵ 心配ごと・困りごとの解消』では、市民の消費生活の安全と安心の確保、犯罪のない安全安心なまちづくりを目指した防犯対策の推進、市民相談や無料法律相談体制の充実等に資する事務事業を実施し、市民が安全安心に生活できる環境づくりを目指しました。

【主な施策の主要事業】

単位:千円

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業費			事業区分	H30時点評価	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
I 総合防災対策の推進								
1 防災計画の推進								
		火山防災対策関係経費	計画額	161	145	145	実施事業	総務G
			決算額	81	59	60		
		防災会議経費	計画額	238	238	238	実施事業	総務G
			決算額	30	13	19		
		登別市国民保護協議会開催経費	計画額	108	108	108	実施事業	総務G
			決算額	13	0	6		

主な 施策	基本的な 方向	主要事業	事業費			事業区分	H30時点評価
			平成28年度	平成29年度	平成30年度		
2 防災意識の向上							
	総合防災訓練経費	計画額	0	2,343	0	実施事業	総務G
		決算額	0	1,833	0		
	高台避難誘導看板設置事業	計画額	1,991	2,299	2,364	実施事業	総務G
		決算額	1,127	2,198	2,268		
	防災意識普及啓発活動事務	計画額	—	—	—	実施事業	総務G
		決算額	—	—	114		
3 防災体制の充実							
	防災情報の伝達装置に係る維持管理経費	計画額	5,434	5,926	5,434	実施事業	総務G
		決算額	5,284	5,633	6,383		
	全国瞬時警報システム受信機等更新事業費	計画額	※	※	※	追加事業	総務G
		決算額	0	0	4,266		
	防災資機材購入費補助事業	計画額	1,100	2,400	1,200	実施事業	総務G
		決算額	107	1,557	119		
	地域防災組織の構築	計画額	—	—	—	実施事業	総務G
		決算額	—	—	150		
	防災対策強化事業	計画額	1,604	1,604	1,604	実施事業	総務G
		決算額	1,604	1,398	1,511		
	北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会開催補助金	計画額	※	※	※	追加事業	総務G
		決算額	0	95	0		
4 治山対策の推進							
	林業振興経費	計画額	731	731	731	実施事業	農林水産G
		決算額	677	791	1,711		

主な 施策	基本的な 方向	主要事業	事業費			区分	H30時点評価	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
5 治水・雨水対策の推進								
		ポンヤンケン川改修事業	計画額	9,500	0	0	実施事業	土木・公園G
			決算額	9,028	0	0		
		河川維持補修事業	計画額	4,518	4,518	4,518	実施事業	土木・公園G
			決算額	4,517	4,232	7,247		
		道路排水対策(雨水対策)事業	計画額	169,700	186,000	197,000	実施事業	土木・公園G
			決算額	166,883	184,240	167,335		
II 消防・救急救助体制の充実								
1 火災予防活動の推進								
		防火・防災管理体制の強化事業	計画額	—	—	—	実施事業	総務G(消防)
			決算額	—	—	—		
		火災予防普及事業	計画額	—	—	—	実施事業	総務G(消防)
			決算額	—	—	—		
		防火管理講習会事業	計画額	—	—	—	実施事業	総務G(消防)
			決算額	—	—	—		
		住宅用火災警報器普及事業	計画額	—	—	—	実施事業	総務G(消防)
			決算額	—	—	—		
		危険物施設の予防査察事業	計画額	—	—	—	実施事業	総務G(消防)
			決算額	—	—	—		
		一人暮らし等高齢者査察事業	計画額	—	—	—	実施事業	総務G(消防)
			決算額	—	—	—		
		消防団安全装備品等購入事業	計画額	1,696	1,688	1,690	実施事業	総務G(消防)
			決算額	1,697	1,691	1,526		

主な 施策	基本的な 方向	主要事業	事業費			区分	H30時点評価	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
2 消防力の強化・高度化								
		消防支署新庁舎建設事業	計画額	2,238	●	●	実施事業	総務G(消防)
			決算額	6,058	72,194	93,945		
		消防職員防火衣更新事業	計画額	0	7,108	7,108	実施事業	総務G(消防)
			決算額	0	17,512	0		
		水槽付消防ポンプ自動車更新事業	計画額	92,093	0	54,473	実施事業	総務G(消防)
			決算額	86,875	0	53,525		
		分団詰所建設事業(解体含む)	計画額	0	●	●	未実施事業	総務G(消防)
			決算額	0	0	0		
		消防署鷺別支署外壁等補修工事事業	計画額	0	0	●	実施事業	総務G(消防)
			決算額	0	0	98		
		多目的支援車更新事業	計画額	13,209	0	0	実施事業	総務G(消防)
			決算額	13,147	0	0		
		空気呼吸器及びFRPボンベ更新事業	計画額	0	●	●	他包括事業	総務G(消防)
			決算額	4,838	0	0		
		水難救助資器材更新事業	計画額	890	788	932	実施事業	警備G
			決算額	886	899	692		
		除雪機械購入事業	計画額	0	●	●	実施事業	警備G
			決算額	294	0	0		
		大規模災害用備蓄器具等整備事業	計画額	517	419	206	実施事業	警備G
			決算額	516	191	0		
		消防学校派遣事業	計画額	2,824	2,824	2,824	実施事業	総務G(消防)
			決算額	2,316	2,851	2,738		

主な 施策	基本的な 方向	主要事業	事業費			区分	H30時点評価	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
Ⅲ 交通安全の推進								
1 交通安全意識の高揚								
交通安全推進事業		交通安全推進事業	計画額	1,000	1,000	1,000	実施事業	市民サービスG
			決算額	895	822	1,609		
交通安全協会交付金		交通安全協会交付金	計画額	4,300	4,300	4,300	実施事業	市民サービスG
			決算額	4,300	4,300	4,300		
市民交通傷害保険事業		市民交通傷害保険事業	計画額	864	864	864	実施事業	市民サービスG
			決算額	711	705	829		
交通安全対策会議経費		交通安全対策会議経費	計画額	98	98	98	実施事業	市民サービスG
			決算額	7	0	6		
2 交通安全施設の整備								
カーブミラー設置事業		カーブミラー設置事業	計画額	221	221	221	実施事業	市民サービスG
			決算額	200	316	271		
照明灯設置事業		照明灯設置事業	計画額	350	350	350	実施事業	土木・公園G
			決算額	335	341	341		
ロードマーク設置事業		ロードマーク設置事業	計画額	1,500	1,500	1,500	実施事業	土木・公園G
			決算額	1,383	1,383	1,372		
Ⅳ 安全な消費生活の確保								
1 消費者対策の充実								
消費者行政推進事業		消費者行政推進事業	計画額	718	718	718	実施事業	市民サービスG
			決算額	547	432	574		
消費生活展開催補助金		消費生活展開催補助金	計画額	300	300	300	実施事業	市民サービスG
			決算額	300	300	300		
登別消費者協会運営助成金		登別消費者協会運営助成金	計画額	300	300	300	実施事業	市民サービスG
			決算額	300	300	500		

主な 施策	基本的な 方向	主要事業	事業費			区分	H30時点評価	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度			
		消費者被害防止ネットワーク事業	計画額	※	※	※	追加事業	市民サービスG
			決算額	0	444	319		
V 安全安心なまちづくり								
1 防犯対策の推進								
		室蘭登別防犯協会連合会助成事業	計画額	650	650	650	実施事業	市民協働G
			決算額	650	650	650		
		登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会助成事業	計画額	500	500	500	実施事業	市民協働G
			決算額	500	500	500		
		防犯灯設置費補助事業	計画額	13,556	13,556	12,300	実施事業	市民協働G
			決算額	13,593	14,777	12,444		
		社会を明るくする運動登別地区推進委員会負担金	計画額	180	180	180	実施事業	社会福祉G
			決算額	180	180	180		
		登別地区保護司会補助金	計画額	250	250	250	実施事業	社会福祉G
			決算額	250	250	250		
		戦没者追悼式関係経費	計画額	453	453	453	実施事業	社会福祉G
			決算額	453	433	491		
VI 心配ごと・困りごとの解消								
1 市民相談の充実								
		空家等対策事業	計画額	0	●	●	実施事業	都市政策G
			決算額	0	503	672		
		無料法律相談委託業務	計画額	195	195	195	実施事業	市民サービスG
			決算額	195	195	195		
		難視聴地域への情報提供事務	計画額	—	—	—	実施事業	市民サービスG
			決算額	—	—	—		

●「空気呼吸器及びFRPポンベ更新事業」は「水槽付消防ポンプ自動車更新事業」に包括して実施